

## 台湾の携帯電話通信事業者FETと ドローンによる基地局点検サービスの共同実証プロジェクトを開始 ～ドローンを活用したサービス「docomo sky for Tower Inspection」の 海外展開を加速～

株式会社NTTドコモ（以下、ドコモ）と台湾の携帯電話通信事業者FarEasTone Telecommunications Co., Ltd.（以下、FET）は、ドローンを活用して通信鉄塔の点検作業を支援するサービス「docomo sky™ for Tower Inspection」（以下、本サービス）の共同実証プロジェクト（以下、本プロジェクト）を、2019年6月20日（木）から台湾で開始しました。本プロジェクトは、ドコモがドローン運用をトータルにサポートするサービス「docomo sky」をドコモの出資先であるFETに提供し、FETが保有する基地局の点検作業を、ドローンを活用して支援するものです。本プロジェクトは、より安全で効率的な点検作業をめざし、段階的に実証実験を行って、本サービスの有用性を検証します。

「docomo sky」を活用した基地局点検ソリューションの海外展開は、インドネシアに続いて2例目になります。

本サービスは、ドコモの商用ネットワークの基地局点検のために全国展開しているドローン基地局点検システムをベースに開発されたものです。ドローンの操縦者が、簡易な操作でドローンをコントロールできるグランドコントロールステーションアプリケーション（以下、GCSアプリ）を用い、基地局の高度やドローンとの距離などを設定することで、ドローンの自動飛行、自動撮影、撮影画像のリアルタイム送信が可能になります。また、点検者は「docomo sky」のWEBサイトにログインすると、専用画面から遠隔地の品質保全状況の確認を即時に行うことが可能です。

台湾では、点検者が基地局を1基ずつ目視で確認して、故障箇所を特定することが一般的であり、その点検にかかる人的コストが課題となっていました。本サービスを導入することで、短時間で効率よく、安全に品質保全状況を確認し、早期の対処が期待できます。

本プロジェクトの導入実証は、2019年6月20日（木）に台湾 新竹市周辺のFETが保有する基地局で実施し、ドローンで撮影した映像により基地局の破損、サビなどの状況を確認しました。これにより点検者が鉄塔を1基ずつ目視で確認する既存の手法と比較し、点検業務における作業の安全性の向上や3分の1程度の作業時間の短縮効果を確認しました。今後も引き続きドコモとFETは台湾の基地局への本サービスの効果検証を行います。

ドコモは日本国内で培ったドローンによる基地局点検の技術開発と安全で実績ある運用ノウハウを踏まえながら、グローバル規模でニーズが高いドローンビジネスでの海外展開を見据え、本プロジェクトをはじめとした国外での実証プロジェクトに取り組んでいます。

ドコモは、これからも安心して暮らせる持続可能な社会の実現に向けて、これまで培ってきたネットワーク技術やプラットフォームビジネスなどのさまざまな技術アセットやノウハウを活用し、社会課題の解決やより豊かな社会の実現をめざして、先進的なドローンサービスを創出してまいります。

\*「docomo sky」は株式会社NTTドコモの商標です。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社NTTドコモ

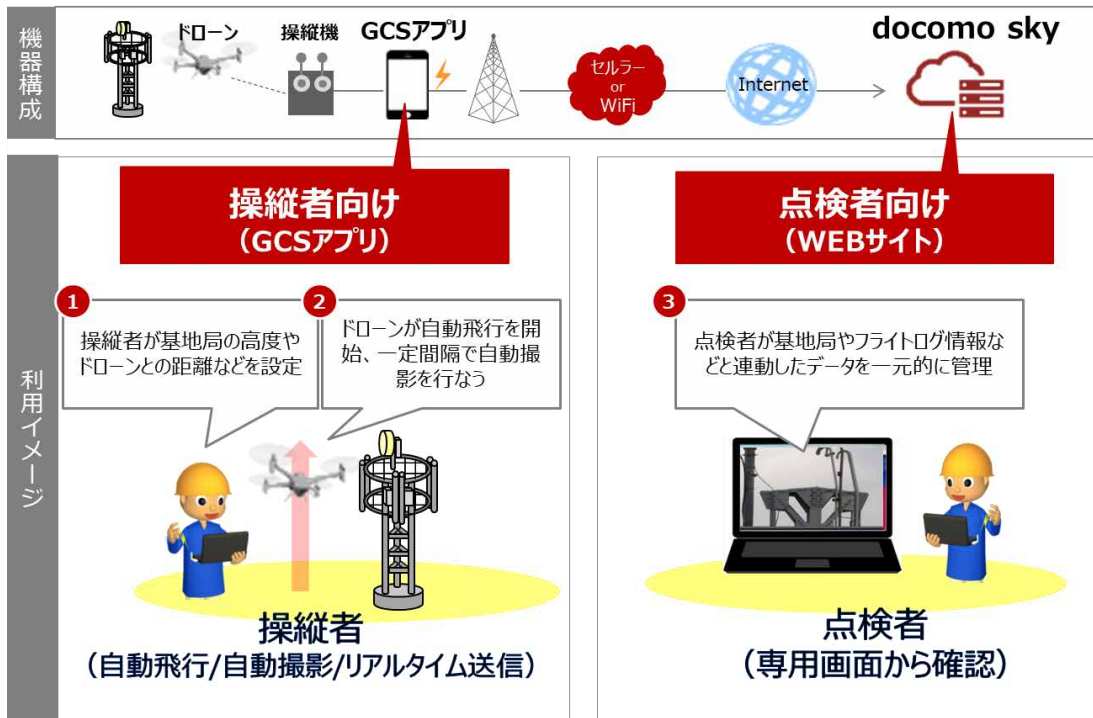
法人ビジネス戦略部 ドローンビジネス推進担当

TEL:03-5156-2753

## 共同実証プロジェクトの概要

台湾国内の基地局などを対象にドローンによる点検サービスを提供します。

### 1. ドローンによる基地局点検サービス「docomo sky for Tower Inspection」のシステム概要



※GCS アプリ=簡易な操作でドローンをコントロールできるようにするアプリケーション。

※一部開発中のものを含みます。そのため、仕様が変更されることがあります。

### 2. 各社の役割

ドコモ

- ・ docomo skyおよびGCSアプリの提供

FET

- ・ 基地局などの実証環境の提供
- ・ ドローンの操縦者および点検技術者の育成など

### 3. 実証実験の様子

#### ■実証実験を行った通信鉄塔

